

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	2	新井田 昭 男	
<p>1. 防災体制と被災者へのフォローについて</p> <p>この度の台風10号は、東北、北海道各地に多大な被害を及ぼし、尊い命が奪われました。</p> <p>当町では、台風の道南接近・通過に伴う中で、人的被害がなく安堵しているところであります。当町の被害状況も行政報告の中に記載されておりますが、被害に遭われました農・林・水産業、並びに住民の皆様には、改めましてお見舞いを申し上げます。</p> <p>さて、この度の台風10号の接近・通過に関わる行政の防災対策に関し、防災無線を活用した早々の避難所の開設等の案内や事前の止水対策など適切な災害予知活動を行ったと感じております。</p> <p>8月30日午前9時30分に「平成28年台風10号木古内町災害対策本部」を立ち上げ、午後9時頃に各消防団員も招集がかかり第3分団員とし出動した団員7名の一員として、当地区の暴風による一般住宅の窓の破損・屋根の損壊に対し応急措置に従事しました。そこで、暴風作業の中で不備な点や安全面等に対する下記内容について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 窓・屋根損壊での処置の中で、適切な木材等の資材がないのが現状です。考えられる角材を含む木材・コンパネ・ロープ・インパクトドライバー・手ノコ・ブルーシート等の適切な各地区分遣所への配置予定はありますか</p> <p>(2) 暴風雨での損壊に対する対応の中で、人的二次災害を防ぐためのマニュアルを作成していますか</p> <p>(3) 避難所の開設で、避難をされた住民の皆様に対する物資的（防災グッズ）対応及び被災者（事業所も含む）への行政対応はどのように考えていますか</p>			町 長

